

「施策」総括表

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり		
施策	① 良好な景観創出のための仕組みづくり	実施計画掲載頁	67	
対応する主な課題	②各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。 ③風景づくり、景観形成を推進するにあたって、良質な公共空間の創出により地域の景観形成を先導するとともに、良質な景観形成に関する専門的な知識を有する人材育成や技術開発を行う必要がある。			
関係部等	土木建築部、農林水産部			

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)

平成29年度				
	主な取組 (所管部課)	決算 見込額 (千円)	進捗状況	活動概要
○市町村の景観行政団体への移行				
1	沖縄らしい風景づくり促進事業 (景観行政団体への移行促進) (土木建築部都市計画・モノ レール課)	13,461	順調	市町村の景観行政団体移行に向けての助言等を9団体(座間味村、渡嘉敷村、東村、金武町、嘉手納町、南風原町、南大東村、粟国村、多良間村)に対して行った。
○市町村の景観計画等策定支援				
2	沖縄らしい風景づくり促進事業 (景観計画策定及び景観地区 指定の支援) (土木建築部都市計画・モノ レール課)	13,461	順調	市町村の景観計画策定に向けての助言等を14市町村(未策定)に対して行い、景観地区指定に向けての助言等を1市1町2村(うるま市、竹富町、読谷村、座間味村)に対して行った。
○景観評価システムの構築				
3	沖縄らしい風景づくり促進事業 (景観アセスメント構築、実施) (土木建築部都市計画・モノ レール課)	23,141	順調	「沖縄県景観検討の基本方針(H29本格運用版)」に基づき、道路2事業・河川2事業・公共建築2事業・港湾1事業・海岸2事業(計9事業)を対象に本格運用を実施し、海岸事業の景観チェックリスト解説書を策定した。
○風景づくりリーダー育成とモノづくりの促進				
4	沖縄らしい風景づくり促進事業 (地域景観の形成を図る人材の 育成) (土木建築部都市計画・モノ レール課)	23,141	順調	平成24年度に策定した「沖縄の風景づくりに係る人材育成計画」に基づき、県内6地区(首里金城地区、壺屋地区、浜比嘉地区、宇豊見城地区、座間味地区、竹富島地区)において風景づくりサポーター及び地域景観リーダー育成のための講習会等を開催した。
○景観資源を活かした農地・農村の整備				
5	農村集落基盤・再編・整備事業 (農林水産部農地農村整備課)	162,592	順調	米須西地区(糸満市)他5地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行った。

様式2(施策)

II 成果指標の達成状況 (Do)

	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
1	市町村景観行政 団体数	21団体 (23年度)	28団体	29団体	31団体	32団体	32団体	32団体	達成	41団体	土木建築部 都市計画・モ ノレール課
	状況 説明	市町村景観行政団体数は、H29年度の計画値32団体に対して実績値32団体となり、計画値を達成した。									
	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
2	景観地区数	3地区 (23年度)	3地区	3地区	5地区	5地区	8地区	7地区	達成	24地区	土木建築部 都市計画・モ ノレール課
	状況 説明	景観地区数は、沖縄らしい風景づくり促進事業などの取組により、平成29年度実績値 8地区となりH29年度計画値(7地区)を達成した。									
	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
3	景観アセスメント 数	0件 (23年度)	4件	12件	22件	29件	38件	40件	95.0%	80件	土木建築部 都市計画・モ ノレール課
	状況 説明	景観アセスメント数は、H29年度の計画値40件に対して実績値38件と順調に進んでいるが、対象事業の選定や進捗について担当課との調整に時間を要したことにより、計画値を達成することができなかった。									

III 施策の推進状況の分析(Check)

(1) 施策の推進状況

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)	100.0%
II 成果指標の達成状況 (Do)	66.7%



施策推進状況	概ね順調
--------	------

(2) 施策の推進状況の分析

当該施策の推進状況は、「概ね順調」である。

○市町村の景観行政団体への移行

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観行政団体への移行促進)については、県内景観行政団体数は、平成29年度の計画値32団体に対して実績値32団体と順調に進んでいる。現在、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村において景観行政団体への移行に向けた取組が進捗しており、景観行政団体が増えることにより、各地域に適した景観施策が実施されることとなる。

○市町村の景観計画等策定支援

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観計画策定及び景観地区指定の支援)において、景観計画については、平成29年度の計画値29市町村に対して実績値29市町村、景観地区については、計画値7地区に対して実績値8地区と順調に進んでいる。各地域で景観計画が策定されることにより、地域に適した景観施策が実施される。また、景観地区等に指定されることにより、統一された良好な景観が形成される。

○景観評価システムの構築

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観アセスメント構築、実施)においては、景観アセス(景観評価システム)数については、平成29年度の計画値40件に対して実績値38件と順調に進んでいる。景観評価システムの本格運用により、公共事業において景観の配慮がなされ、質の高い公共空間が創出される。

○風景づくりリーダー育成とモノづくりの促進

・沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成)については、講習修了数は、平成29年度の計画値300人(延べ人数)に対して実績値457人(延べ人数)と計画どおり進んでいる。風景づくりに係る人材育成が実施されることにより、良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。

○景観資源を活かした農地・農村の整備

・農村集落基盤・再編・整備事業については、米須西地区(糸満市)他5地区において、農業生産基盤とともに自然環境生態系保全施設等が整備されたことにより、農業農村がもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善向上が図られた。

成果指標である景観アセスメント数は、「未達成」であった。

IV 施策の推進戦略案 (Action)

[主な取組]

○市町村の景観行政団体への移行

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観行政団体への移行促進)については、各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けて、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築のため、市町村の景観行政団体への移行に係る法的な手続きや、良好な地域景観の形成について助言等を行うことで、市町村における景観基礎調査等の取組を促進し、景観行政団体への移行の支援を行う必要がある。

○市町村の景観計画等策定支援

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観計画策定及び景観地区指定の支援)については、市町村との連携強化を図るため意見交換を密に行い、市町村の景観まちづくりに関する取り組み(地域住民を対象とした講演会や勉強会等)に県内外の風景づくりアドバイザーを派遣するなど、景観地区の指定等に向けた支援を行う。

○景観評価システムの構築

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観アセスメント構築、実施)については、景観評価システムの円滑な運用に向けて、景観検討の前年度から事業課との連携強化を図る。また、県事業担当者や県内コンサルタントの技術力向上を図るため、引き続き、有識者を交えた景観アドバイスメETING(各事業×2回程度)等を開催する。

○風景づくりリーダー育成とモノづくりの促進

・沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成)については、地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村と連携を図りながら各地区でワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。

○景観資源を活かした農地・農村の整備

・農村集落基盤・再編・整備事業については、引き続き円滑な事業執行に向けて、市町村の担当者へのヒアリングを定期的で開催するなど、地元市町村等関係機関と連携するとともに、事前に受益農家等との調整を行い、工事予定箇所の早期確定を行う。

[成果指標]

・景観アセスメント数においては、H30年度計画値を達成するため、景観評価システムの対象となる事業について、なるべく早い段階から事業課と連携し、円滑な事業執行を図る。

「施策」総括表

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり	
施策	② 景観資源の保全・再生・利用	実施計画掲載頁	68
対応する主な課題	②各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。 ④河川や海岸などの水辺は、水と緑の貴重な空間や憩いの場としてのニーズが高まっているとともに景観を構成する重要な要素であることから、良好な水辺環境・景観の創出が求められている。 ⑤観光地や市街地において、電柱等が景観形成を阻害していることから、無電柱化の推進が求められている。 ⑥景観を形成する古民家や集落は、都市化や老朽化などで失われつつあり、古民家の保全に向けた技術者の育成や資材の確保等の取組が求められている。		
関係部等	土木建築部		

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)

平成29年度				
No.	主な取組 (所管部課)	決算 見込額 (千円)	進捗状況	活動概要
○質の高い公共空間の創造				
1	沖縄らしい風景づくり促進事業 (景観地区指定の支援) (土木建築部都市計画・モノ レール課)	13,461	順調	景観地区指定に向けて取り組んでいる1市1町2村(うるま市、竹富町、読谷村、座間味村)に対して、指定に係る助言を行った。
○景観・環境・利用に配慮した河川・海岸・公園等の整備				
2	自然環境に配慮した河川の整備 (土木建築部河川課)	2,914,689	順調	国場川、小波津川など20河川にて、環境・景観に配慮した多自然川づくりにむけた用地補償及び護岸工事等を行った。また、奥川にて水辺環境の再生にむけた環境調査を行った。
3	景観・親水性に配慮した海岸の整備 (土木建築部海岸防災課)	537,200	順調	東村の有銘海岸(L=161m)、うるま市の中城湾港海岸(豊原地区)(L=144m)等において、景観・親水性に配慮した海岸整備を行い、また、宜野湾市の伊佐海岸、金武町の金武湾港海岸(ギンバル地区)等において、景観・親水性に配慮した海岸整備の検討、実施設計、事前環境調査を行った。
4	都市公園における風景づくり (土木建築部都市計画・モノ レール課)	784,168	順調	首里城公園においては文化財調査、園路整備、中城公園においては園路、散策路整備、浦添大公園においては園路整備等を行った。
○無電柱化の推進				
5	無電柱化推進事業 (土木建築部道路管理課)	667,217	順調	無電柱化整備総延長について、平成29年度は国が2.5km、県が2.5km、市町村が0.8km、合計で5.8kmを整備した。
○古民家の保全・再生・利用				
6	古民家の保全・継承 (土木建築部住宅課)	1,874	順調	建築関係技術者向けの講演会で、沖縄の伝統木造住宅(古民家)に係る講演を行い古民家の再生・活用の普及・啓発を図った。

II 成果指標の達成状況 (Do)

	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
1	景観地区数	3地区 (23年度)	3地区	3地区	5地区	5地区	8地区	7地区	達成	24地区	土木建築部 都市計画・モ ノルール課
	状況説明	景観地区数は、沖縄らしい風景づくり促進事業などの取組により、平成29年度実績値 8地区となりH29年度計画値(7地区)を達成した。									
2	自然環境に配慮した河川整備の割合	63.2% (23年度)	64.6%	64.7%	65.2%	67.5%	67.6%	67.4%	達成	70.2%	土木建築部 河川課
	状況説明	河川の水辺環境の保全・再生に向けて、20河川において河川の護岸工事等を行った結果、自然環境に配慮した河川整備の割合は67.6%となり、目標値を0.2ポイント上回った。									
3	景観・親水性に配慮した海岸整備の延長	4,850m (23年度)	6,488m	7,920m	8,351m	9,054m	9,381m	7,988m	達成	10,080m	土木建築部 海岸防災課
	状況説明	景観・親水性に配慮した海岸整備の延長は、有銘海岸(東村)、中城湾港海岸(豊原地区)(うるま市)などの取組により、基準値4,850mに対し改善幅4,531m、現状値9,381m(前年度から327mの推進)となり、H29目標値7,988mを達成し、主な課題の改善に寄与している。									
4	歴史景観と調和する都市公園の供用面積	32.0ha (22年度)	32.7ha	33ha	33.4ha	33.5ha	33.5ha	33.5ha	達成	56.9ha	土木建築部 都市計画・モ ノルール課
	状況説明	歴史景観と調和する都市公園の供用面積について、首里城公園、中城公園の公園利用に供する施設を整備し、計画値33.5haに対し、実施値33.5haとなり目標を達成した。H33目標の供用開始に向けて着実に進捗している。									
5	無電柱化整備総延長(良好な景観形成)	109km (23年度)	119.9km	128.2km	135.8km	143.2km	149km	149.2km	99.5%	173.2km	土木建築部 道路管理課
	状況説明	無電柱化整備総延長について、平成29年度は国が2.5km、県が2.5km、市町村が0.8kmを整備し、合計で5.8kmとなり、平成29年度の計画値149.2kmに対して149.0kmで目標値は達成出来なかった。関係機関との調整に時間を要した事が、要因の一つと考えられる。									

様式2(施策)

III 施策の推進状況の分析(Check)

(1) 施策の推進状況

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)	100.0%
II 成果指標の達成状況 (Do)	80.0%



施策推進状況	順調
--------	----

(2) 施策の推進状況の分析

当該施策の推進状況は、「順調」である。

○質の高い公共空間の創造

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観地区指定の支援)において、景観地区は、計画値7地区に対して実績値8地区と順調に進んでいる。各地域で景観地区等が指定されることにより、統一された良好な景観が形成される。

○景観・環境・利用に配慮した河川・海岸、公園等の整備

・自然環境に配慮した河川の整備については、国場川、小波津川など20河川にて、環境景観に配慮した多自然川づくりにむけた用地補償及び護岸工事等を行い、計画どおりの延長を整備した。また、奥川にて水辺環境の再生にむけた環境調査を行った。取組は順調である。

・景観・親水性に配慮した海岸の整備については、平成29年度に327m整備し、延べ約9.4kmの整備延長となり、計画値を上回ったため順調とした。その結果、良好な水辺環境・景観の創出が図られた。

・都市公園における風景づくりについては、首里城公園の文化財調査、園路整備、中城公園の園路、散策路整備、浦添大公園の園路整備等、公園利用に供する施設を整備し、供用開始に向けて着実に進捗しており順調である。

○無電柱化の推進

・無電柱化推進事業においては、無電柱化整備総延長について、平成29年度は国が2.5km、県が2.5km、市町村が0.8km、合計で5.8kmを整備した。計画値(6.0km)に対し、順調に取り組むことができた。

○古民家の保全・再生・利用

・古民家の保全・継承については、沖縄の古民家に関するシンポジウムを1回開催し、計画値を達成し(2月開催、受講者数:261人)順調に取り組むことができた。同シンポジウム開催により、古民家の保全再生利用について普及啓発が図られた。

成果指標である無電柱化整備総延長(良好な景観形成)は、「未達成」であった。

IV 施策の推進戦略案 (Action)

[主な取組]

○質の高い公共空間の創造

・沖縄らしい風景づくり促進事業(景観地区指定の支援)については、市町村との連携強化を図るため意見交換を密に行い、市町村の景観まちづくりに関する取り組み(地域住民を対象とした講演会や勉強会等)に県内外の風景づくりアドバイザーを派遣するなど、景観地区の指定等に向けた支援を行う。

○景観・環境・利用に配慮した河川・海岸、公園等の整備

・自然環境に配慮した河川の整備においては、河川事業についての理解を深め、協力を得るため、引き続き事業説明会やワークショップを開催する。引き続き、河川水質の維持改善や河川近隣の整備等について関係機関と連携をとりながら事業を実施する。

・景観・親水性に配慮した海岸の整備については、景観や親水性に配慮した海岸を整備するにあたって、引き続き、必要な事項について意見交換会の実施や聞き取り調査等により有識者や地元の意見を聴取し、可能な限り設計内容に取り入れる。

・都市公園における風景づくりについて、公園用地取得に向けては、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、事業が円滑に進められるよう市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得ながら推進する。また、管理区分の調整等の理由により未だ一部供用開始されていない公園については、部分的な供用の可能性について検証する。さらに、発掘調査等を担当する関係機関と連絡調整を密に行い、文化財に対して適切な対応を図りながら、事業を推進していく。

○無電柱化の推進

・無電柱化推進事業については、無電柱化推進のため、国、県、市町村、電線管理者(沖縄電力、NTT等)と連携して取り組む。それらの連携体制を強化するために「沖縄ブロック無電柱化推進協議会」などにおいて、情報共有を図る。

○古民家の保全・再生・利用

・古民家の保全・継承については、景観を形成する古民家や集落の保全に向けた技術者の育成や資材の確保のため、古民家の再生に係る大工や職人を増加を目的として建築技術者に向けて広報を行う。また、古民家の需要増及び古材の流通促進に資するため、シンポジウムの開催や「古民家再生活用部会」(都市計画モノレール課)への参加等、県民に対して古民家の魅力を引き続き発信することとする。

[成果指標]

・無電柱化整備総延長(良好な景観形成)については、目標値の達成に向け、引き続き、事業の推進及び取組の強化を図る。

「施策」総括表

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	
施策	① 県民一体となった全島緑化の推進	実施計画掲載頁	70
対応する 主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。		
関係部等	環境部		

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)

平成29年度				
	主な取組 (所管部課)	決算 見込額 (千円)	進捗状況	活動概要
1	美ら島づくり行動計画推進事業 (団体支援等) (環境部環境再生課)	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行った。また、優良花木の増殖技術の普及を行った。
2	全島みどりと花いっぱい運動事業 (環境部環境再生課)	8,392	順調	『一島一森』で花と緑の美ら島づくりをスローガンに、行政主導から県民を巻き込んだ各種緑化活動支援を実施した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、県土緑化への積極的な参加及び緑化活動を促進した。
3	沖縄グリーンプロモーション事業 (環境部環境再生課)	11,595	概ね順調	地域住民がボランティアで活動する団体がほとんどであるため、活動の継続には資材等の確保、資材等の購入に必要な資金の獲得、技術向上等が必要であるため、県内5地区において技術講習会を開催した。また、知識を有する専門家等を活用し、活動団体の課題解決に資するための登録制度を新たに構築した。
4	緑化推進費 (環境部環境再生課)	13,853	順調	緑化の普及啓発を図るため、県植樹祭において、参加者全員による植樹作業や、緑の少年団の大会決議を行った。全島緑化県民運動ポスター原画コンクールや山の日イベント等を実施した。

II 成果指標の達成状況 (Do)

成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名	
		H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)				
1	県民による緑化活動件数	55件 (23年度)	52件	59件	59件	60件	61件	61件	達成	65件	環境部環境再生課
状況説明	県民による緑化活動件数については、平成29年度 61件と、計画値を達成した。県植樹祭等による緑化の普及啓発や緑化活動の推進により、県内における緑化活動の活性化等が図られている。										

III 施策の推進状況の分析(Check)

(1) 施策の推進状況

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)	75.0%
II 成果指標の達成状況 (Do)	100.0%



施策推進状況	順調
--------	----

(2) 施策の推進状況の分析

当該施策の推進状況は、「順調」である。

- ・美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)については、県内の企業等団体が取組む緑化活動に対して、環境と目的に応じた植栽樹種の情報提供、「クメノサクラ」等の優良花木の増殖技術等の普及を10件行い、団体の育成に取組んだ。計画どおり取り組むことができたことから順調とした。
 - ・全島みどりと花いっぱい運動事業については、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、花のゆりかご事業等による学校・地域住民等が行う緑化活動の支援により、県民一体となった緑化活動が各地で実施された。全島緑・花・香いっぱい運動(85件)も前年度より増加するなど、順調に取り組むことができた。
 - ・沖縄グリーンプロモーション事業について、緑化活動維持管理活動等の支援は、計画値(6件)に対し5地区で講習会を開催し、助成金の情報や雑草対策と景観向上の具体事例を紹介し、参加者の知識理解を深めることができた。また、緑化活動の課題解決に有効な窓口を一元化し活動団体や関係者との連携を効率的に行える体制を強化した。上記により、一定程度支援体制を強化したが、関係者間の連携強化を引き続き行う必要性もあることから、概ね順調とした。
 - ・緑化推進費では石垣市での地元住民等が参加した植樹祭の開催、緑化の各種コンクール、緑の少年団の育成・指導を行い、順調に取組を推進した。なお、緑の少年団については64団体結成されている。
- 地域、教育現場に対して緑化の普及啓発がなされ、県民の緑化への関心が醸成された。

IV 施策の推進戦略案 (Action)

[主な取組]

- ・美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)については、緑化活動に関する技術書をインターネット等で広く提供する。
- ・全島みどりと花いっぱい運動事業については、緑化活動は長期的な取組みを実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用により、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。
- ・沖縄グリーンプロモーション事業については、活動団体への支援を継続的に行うことで、既存の団体の技術力向上、組織運営力の強化を図る。上記団体の技術力及び組織運営力の強化ができた後は、当該団体の活用による他団体の課題解決に繋げ、県全域の活動団体の技術向上、活動意識の向上を図る。また、活動団体の支援を効率的に行うため、技術講習会の開催や団体間の情報交換等の普及啓発を行い、関係者間の協働連携を強化する。
- ・緑化推進費では、イベントやコンクール開催などの周知や実施について、視覚的に訴える情報発信を行うことや、若い世代、児童・生徒等の心を引きつけるようなイベント内容を企画するなど、ターゲットを絞った計画、実施をする、また緑化の関係団体と連携を図ることにより参加者の増大を図る。

「施策」総括表

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	
施策	② 都市、道路、郊外及び農山村の緑化	実施計画掲載頁	70
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。 ②沖縄らしい熱帯・亜熱帯性の花木等を活用し、市街地や観光地をはじめ、その地域にふさわしい緑地の創出が必要である。 ③主要な道路及び観光地へのアクセス道路等の沿道空間において、道路緑化及び植栽管理強化による沖縄らしい風景の創出・沿道等の周辺環境に配慮したアメニティ空間の創出が求められている。 ④郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。		
関係部等	土木建築部、環境部、農林水産部		

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)

平成29年度			
主な取組 (所管部課)	決算 見込額 (千円)	進捗状況	活動概要
○風致地区の指定			
1 市町村緑化推進支援事業 (土木建築部都市計画・モノ レール課)	14,841	順調	市町村へ「緑の基本計画」策定及び風致地区指定の取組を促した。また、沖縄県広域緑地計画について、改定に取り組み、「緑の基本計画」の指針となるようにした。
○都市公園の整備			
2 都市公園における緑化等の推進 (土木建築部都市計画・モノ レール課)	2,779,852	順調	県営公園及び市町村営公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地買収や園路整備、休養施設等の整備を行った。
○道路の緑化			
3 沖縄フラワークリエイション事業 (土木建築部道路管理課)	519,995	順調	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(70.0km)について、緑化(草花等)・重点管理を毎年実施した。
4 主要道路における沿道空間の緑化事業 (土木建築部道路管理課)	941,000	順調	主要道路(280km)について、沿道空間における除草や道路植栽・街路樹の剪定等を毎年実施した。
○郊外及び農山村等の緑化			
5 美ら島づくり行動計画推進事業 (団体支援等) (環境部環境再生課)	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行った。また、優良花木の増殖技術の普及を行った。
6 県民の森管理事業 (農林水産部森林管理課)	3,500	順調	県民の森公園内で修繕が必要な箇所について工事を実施し、利用者の安全確保を目指した。

様式2(施策)

7	平和創造の森公園管理事業 (環境部環境再生課)	8,208	順調	公園施設において老朽化・劣化が見られるため維持・修繕を行った。 また、計画に基づく点検・診断や修繕・更新等を実施するため、維持管理計画を作成した。
---	----------------------------	-------	----	--

II 成果指標の達成状況 (Do)

	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
1	都市計画区域内 緑地面積	65,155ha (18年度)	69,013ha (23年 度)	69,013ha (23年 度)	69,013ha (23年 度)	69,013ha (23年 度)	69,013ha (23年 度)	69,013ha	達成	69,013ha	土木建築部 都市計画・モ ノルール課
	状況 説明	都市計画区域内緑地面積については、平成22年度に都市計画区域が増加したこと等から、現状値の緑地面積は基準値より増加している。実績値69,013ha(23年度)は計画値を達成している。									
	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
2	都市計画区域に おける一人当たり の都市公園面積	10.6㎡/人 (22年度)	10.7㎡/ 人	10.8㎡/ 人	10.8㎡/ 人	10.9㎡/ 人	10.9㎡/人	11.0㎡/ 人	75.0%	11.2㎡/人	土木建築部 都市計画・モ ノルール課
	状況 説明	都市計画区域における一人当たりの都市公園面積について、公園事業の事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないこと等により、計画値11.0㎡/人に対し、実績値10.9㎡/人となり目標は達成できなかった。									
	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
3	主要道路におけ る緑化延長	0km (23年)	280km	280km	280km	280km	280km	280km	達成	300km	土木建築部 道路管理課
	状況 説明	雑草の刈払い後に除草剤を使用することで、効率的・効果的な雑草対策に取り組んでおり、除草回数の低減などに繋がっている。平成29年度は280kmと計画値(280km)を達成した。									
	成果指標名	基準値(B)	実績値					計画値	H29年度 達成状況	目標値 H33	担当 部課名
			H25	H26	H27	H28	H29(A)	H29(C)			
4	県民による緑化 活動件数	55件 (23年度)	52件	59件	59件	60件	61件	61件	達成	65件	環境部環境 再生課
	状況 説明	県民による緑化活動件数については、平成29年度 61件と、計画値を達成した。県植樹祭等による緑化の普及啓発や緑化活動の推進により、県内における緑化活動の活性化等が図られている。									

III 施策の推進状況の分析(Check)

(1) 施策の推進状況

I 主な取組の進捗状況 (Plan・Do)	100.0%
II 成果指標の達成状況 (Do)	75.0%



施策推進状況	概ね順調
--------	------

(2) 施策の推進状況の分析

当該施策の推進状況は、「概ね順調」である。

○風致地区の指定

・市町村緑化推進支援事業については、市町村へ「緑の基本計画」及び風致地区指定の取組を促した。「緑の基本計画」の指針となる沖縄県広域緑地計画について、改定へ取り組み、県におけるみどりの目標および市町村における「緑の基本計画」策定及び風致地区の共通認識を持つことができた。

○都市公園の整備

・都市公園における緑化等の推進については、県営公園及び市町村営公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地買収や園路整備、休養施設等の整備したことにより、都市公園の供用面積が実績値1,523haと計画値(1,527ha)に若干満たなかったが計画通り順調である。

○道路の緑化

・沖縄フラワークリエイション事業については、計画70kmに対し、実績70kmとなっており、順調に進捗している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(70.0km)について、緑化(草花等)重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与することができた。

・主要道路における沿道空間の緑化事業については、道路緑化育成管理を延長距離で280km行った。雑草の刈払いに加え、除草剤を使用して効率的効果的な雑草対策に取り組むことで、道路植栽の適正管理が行えた。

○郊外及び農山村等の緑化

・美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)については、県内の企業等団体が取り組む緑化活動に対して、環境と目的に応じた植栽樹種の情報提供、「クメノサクラ」等の優良花木の増殖技術等の普及を10件行い、団体の育成に取組んだ。計画どおり取り組むことができたことから、順調とした。

・県民の森管理事業においては、県民の森公園内で修繕が必要な箇所について、工事を実施し、利用者の安全確保に繋がった。取組の進捗は順調である。

・平和創造の森公園管理事業については、公園の修繕により園内の安全が確保され、維持管理計画を作成したことにより、今後計画的な修繕が実施できるようになった。施設整備や維持管理など、順調に取組を推進した。

成果指標である都市計画区域における一人当たりの都市公園面積は、「未達成」であった。

IV 施策の推進戦略案 (Action)

[主な取組]

○風致地区の指定

・市町村緑化推進支援事業においては、県内各市町村と緑化施策について意見交換を行い、「緑の基本計画」の策定及び更新、風致地区の指定など、良好な自然環境等の保全を図る地域制緑地の指定に向けた取組を促進する。

○都市公園の整備

・都市公園における緑化等の推進において、公園整備による緑化については、引き続き公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、事業が円滑に進められるよう市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得る必要がある。また、管理区分の調整等の理由により未だ一部供用開始されていない公園もあることから、事業効果が発現できるよう部分的な供用の可能性についても検証する。

○道路の緑化

・沖縄フラワークリエイション事業については、定期的なパトロール等により、生育開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図っていく。

・主要道路における沿道空間の緑化事業において、道路植栽の適正管理については、当該ガイドラインに基づき効率的効果的な管理を継続し、実証試験区のモニタリングやワーキング会議の実施によりフォローアップを行なうなど、長期間良好な沿道景観の維持、除草回数の軽減を図る。また、街路樹の剪定については、路線ごとの課題を整理したうえで優先順位をつけるなど、街路樹の管理の改善を図る。さらに、道路ボランティアの普及啓発に向けて、各種支援内容の充実や広報等を推進する。

○郊外及び農山村等の緑化

・美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)については、緑化活動に関する技術書をインターネット等で広く提供する。

・県民の森管理事業においては、老朽化した施設の改修等について、長寿命化計画に基づき一部実施する。また、外国人観光客のニーズに対応するため、多言語案内板等を設置する。

・平和創造の森公園管理事業については、老朽化劣化が見られる施設の維持修繕を行う。

[成果指標]

・都市計画区域における一人当たりの都市公園面積については、引き続き公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、事業が円滑に進められるよう、市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得る。